

お詫びと訂正

同梱されております本製品の取扱説明書において、以下の誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、訂正させていただく次第です。誠に恐れ入りますが、下記の正誤内容をご確認いただき、正しくお使いいただけますようお願い申し上げます。

P.6「各部の名称」ヒント内の「バックライトについて」の部分

✕ 誤	○ 正
<p>●電源オフ中にバックライトを点灯させるには電源/スリープボタンを除くいずれのボタンをしても、バックライトが約3秒間点灯します。選局ツマミを回したり押したりした場合も、同様です。</p>	<p>●電源オフ中にバックライトを点灯させるには電源/スリープボタンを除くいずれのボタンを押しても、バックライトが約3秒間点灯します。選局ツマミを回したり押したりした場合も、同様です。</p>
<p>●電源オン中にバックライトを点灯させるにはスヌーズ/バックライトボタンを押すと、バックライトが約3秒間点灯します。また、何らかのボタンを押して操作した場合や、選局ツマミを回したり押したりした場合も点灯します。</p>	<p>●電源オン中にバックライトを点灯させるにはスヌーズ/バックライトボタンを押すと、バックライトが約3秒間点灯します。また、何らかのボタンを押して操作した場合や、選局ツマミを回したり押したりした場合も点灯します。</p>

P.13「アラーム」内の「アラーム起動時刻とアラーム終了までの時間を登録する」の部分

✕ 誤

アラーム起動時刻とアラーム終了までの時間を登録する

アラーム音はラジオ音声のみです。起動時に聴きたいラジオ局をあらかじめ受信し、音量調整をした後、電源をオフにして以下の操作をしてください。

※ここではアラームAに登録する方法を紹介します。アラームBに登録したい場合は、それぞれのステップでAをBに置き換えて操作してください。

○ 正

アラーム起動時刻とアラーム終了までの時間を登録する

※ここではアラームAに登録する方法を紹介します。アラームBに登録したい場合は、それぞれのステップでAをBに置き換えて操作してください。

※アラーム音はラジオ音声のみです。

- ① 起動時に聴きたいラジオ局をあらかじめ受信し、音量調整をした後、アラームボタン(A)を長押しします。
 - ② アラームアイコン(☉)が点滅したら指を離します(アラームアイコンが点灯に変わります)。
 - ③ アラームボタン(A)を押し、アラームアイコンが消灯したら電源をオフにします。
- この状態で以下の操作をしてください。

P.15「外部機器を接続する」の「ヒントとご注意」の部分

ヒントとご注意

削除(電源オフにはなりません)

- 外部機器からの音声入力がなまはまま分経つと本機は自動的に電源オフになります。
- コードの接続および解除は、双方の機器とも電源オフの状態で行ってください。
- 音量の調節は、本機および外部機器双方で可能ですが、本機側で音量を上げすぎると、接続解除後に電源を入れた時、突然大きな音が出る場合がありますので、十分ご注意ください。
- 外部機器を接続中、スピーカーからわずかに音が出力されることがありますが、故障ではありません。

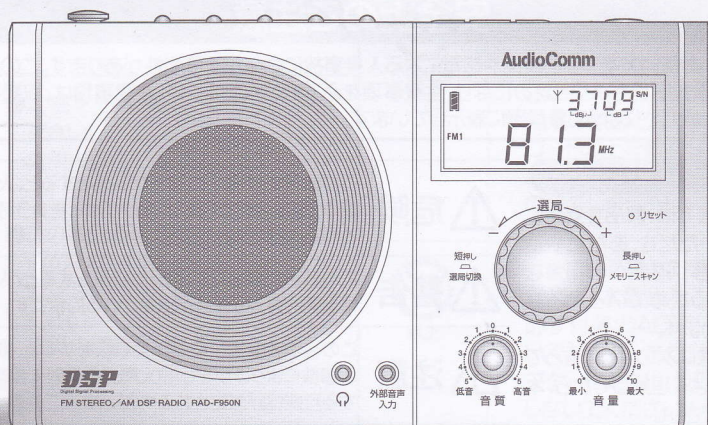
取扱説明書

保証書付

書齋ラジオ

FM STEREO / AM DSP RADIO

RAD-F950N



このたびは、AudioComm® 書齋ラジオを
ご購入いただき、誠にありがとうございます。

警告 電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。”なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	1~3	すでに登録されている放送局の	
電源について	4	メモリー番号を変更するには	11
各部の名称	5~6	任意のメモリー登録内容を消去するには	12
時刻を合わせる	7	メモリー登録を一括して消去するには	12
ラジオ放送を聴く	8	その他の便利な機能	
便利な選局機能		アラーム	13
受信可能な放送局を自動でスキャンして		スリープ	14
選局するには <自動選局>	9	FM設定	15
よく聴く放送局を登録し、		外部機器を接続する	15
ワンタッチで選局するには <お気に入り>	9	ヘッドホンで聴くには	16
受信可能な放送局を一括でメモリー登録するには		主な仕様	17
<ATS(オートチューニングストレージ)>	10	故障かなと思ったら	17
放送局を手動でメモリー登録するには		お手入れのしかた	17
<手動メモリー登録>	10	保証書とアフターサービスについて	18
メモリー登録した放送局を選ぶには	11	保証書	裏表紙
メモリー登録した放送局をスキップしながら受信し、			
聴きたい局を探すには	11		

安全上のご注意

安全上のご注意







電気製品は間違った使い方をするとう火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱を誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。









絵表示の使用例

-  **危険** この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
-  **警告** この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
-  **注意** この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。
-  △記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意が描かれています。)
-  ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止が描かれています。)
-  ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

警告

  異常の時は コンセント から抜く	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 接触禁止  感電に注意	●雷が鳴り始めたら、安全のため本機およびACアダプターコードに触れないでください。
  水が入った時は コンセント から抜く	●万一、内部に水などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	 禁止	●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  異物が入った時は コンセント から抜く	●万一、機器の内部に異物が入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	 乾電池の取扱に 注意	●本機に使用している乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにしてください。乾電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。
 分解禁止	●本機を分解、修理、改造しないでください。火災・感電の原因となります。	 禁止	●本機やACアダプターコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。
 禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。	 禁止	●付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
 コードを 交換する	●ACアダプターコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	 禁止	●ACアダプターコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
 水かけ禁止	●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の危険があります。		

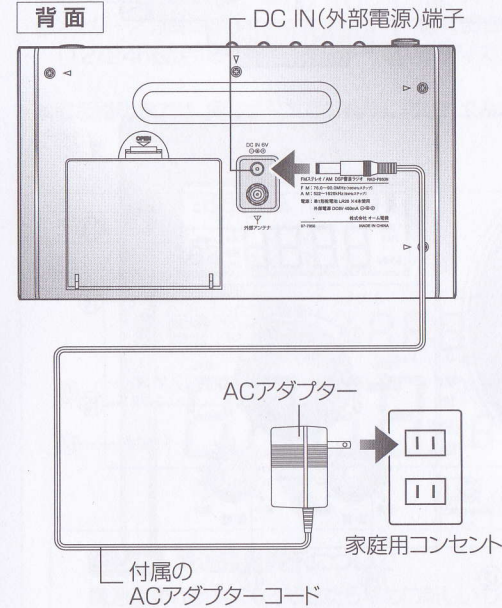
⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 	 アンテナに注意	<ul style="list-style-type: none"> 持ち運びする時は、アンテナをしまってください。伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ACアダプターを抜く時は、ACアダプターコードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 	 コンセントから抜く	<ul style="list-style-type: none"> 移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜いてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。 	 音量に注意	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れる前には、音量を絞ってください。電源を入れた時、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。 ヘッドホン接続時を含めて、ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。近隣の迷惑になったり、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 	 音量に注意	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れる前には、音量を絞ってください。電源を入れた時、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。 ヘッドホン接続時を含めて、ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。近隣の迷惑になったり、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
 乾電池の電極性に注意	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 	 音量に注意	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れる前には、音量を絞ってください。電源を入れた時、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。 ヘッドホン接続時を含めて、ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。近隣の迷惑になったり、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 	 コンセントから抜く	<ul style="list-style-type: none"> 旅行などで長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、乾電池も取り外してください。火災・液もれの原因となることがあります。
 コンセントから抜く	<ul style="list-style-type: none"> お手入れの際には安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。 	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけないでください。電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

電源について

家庭用電源で使う場合

- 付属のACアダプターコードで本機のDC IN(外部電源)端子と家庭用コンセントを接続します。
- ◆乾電池が入っている場合でも、ACアダプターを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。
- ◆本機を使用しない時はACアダプターをコンセントから外してください。

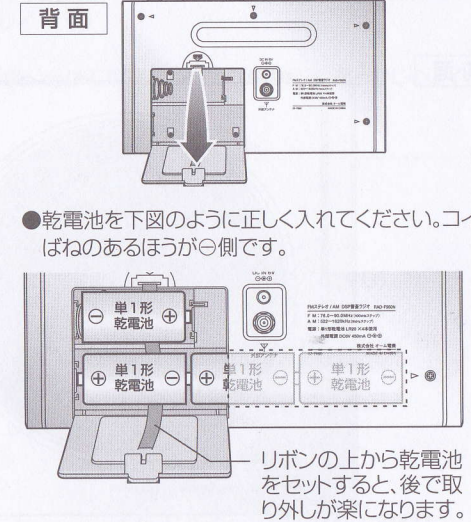


乾電池で使う場合

- ◆アルカリ乾電池のご使用をお勧めします。
- ◆電池カバーを開け、乾電池の⊕と⊖を間違えないように、単1形乾電池4本を入れます。

乾電池の入れ方

- 背面の電池カバーのツメを押し下げ、矢印の方向に開けてください。





- 乾電池を入れたら、元通りに電池カバーを閉めます。

電源を接続すると、工場出荷時の初期画面がディスプレイに表示されます。P.7を参照して時刻を設定してください。

付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

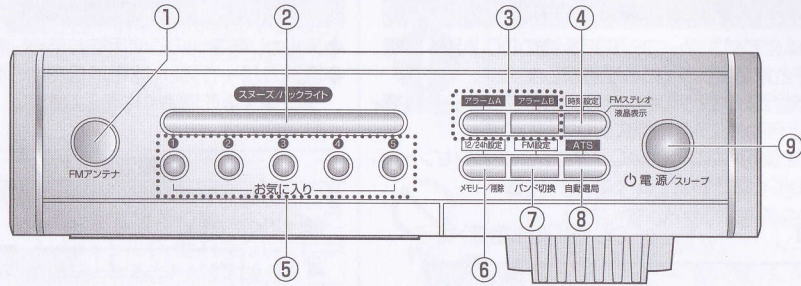
乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

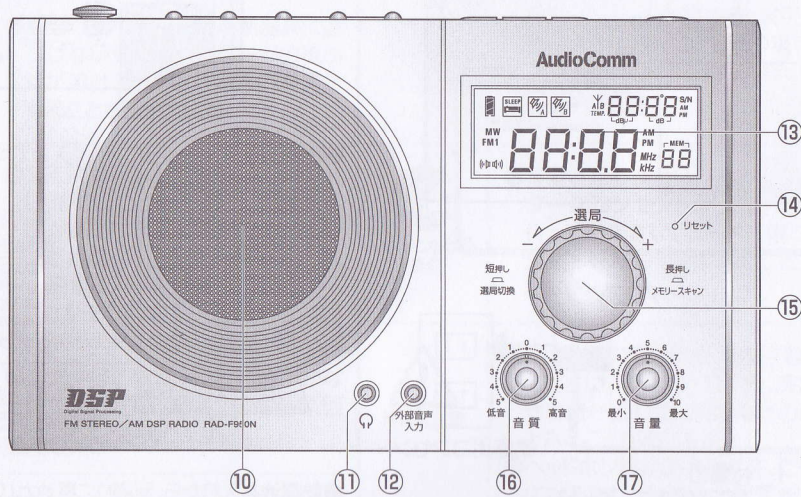
 警告	<ul style="list-style-type: none"> ・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない 	<ul style="list-style-type: none"> ●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わない時は乾電池を取り外しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ●万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。 ●使用済みの乾電池を廃棄する時、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

各部の名称

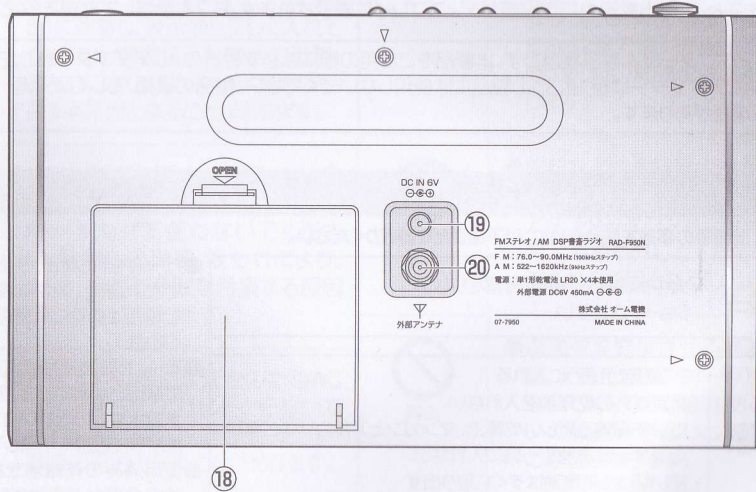
上面



前面



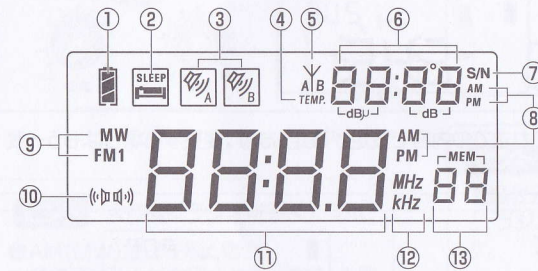
背面



- ⑦バンド切替ボタン (FM設定ボタン)
- ⑧自動選局ボタン(ATSボタン)
- ⑨電源/スリープボタン
- ⑩スピーカー
- ⑪ヘッドホン端子
- ⑫外部音声入力端子
- ⑬ディスプレイ
- ⑭リセット穴
- ⑮選局ツマミ
- ⑯音質ツマミ
- ⑰音量ツマミ
- ⑱電池カバー
- ⑲DC IN(外部電源)端子
- ⑳外部アンテナ接続端子

※本取扱説明書では、同じボタンでも機能に応じて名称を使い分けて解説する場合があります。あらかじめご了承ください。

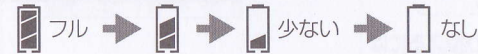
ディスプレイ



- ①電池残量表示
- ②スリープアイコン
- ③アラームアイコン(A/B)
- ④温度表示アイコン
- ⑤アラーム時刻表示アイコン(A/B) 受信レベル表示アイコン
- ⑥受信レベル表示、温度表示、時刻表示
- ⑦S/Nアイコン
- ⑧AM/PMアイコン
- ⑨バンド表示[MW(AM)/FM1] 受信レベル表示アイコン
- ⑩FMステレオ受信アイコン
- ⑪周波数・時刻表示
- ⑫周波数単位表示
- ⑬メモリー番号・お気に入り番号表示

ヒント 電池残量表示について

電池残量が少なくなってきたら早めに新しいものと交換してください。ACアダプター使用時は、電池残量に関係なく常にフル状態を表示します。



バックライトについて

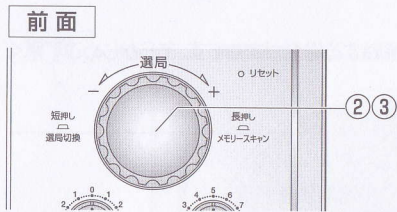
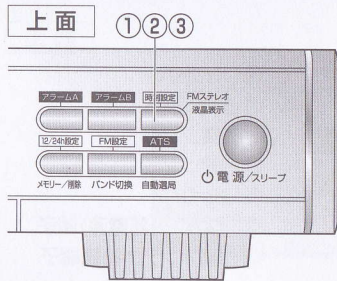
●電源オフ中にバックライトを点灯させるには電源/スリープボタンを除くいずれのボタンをしても、バックライトが約3秒間点灯します。選局ツマミを回したり押したり場合も、同様です。

●電源オン中にバックライトを点灯させるにはスヌーズ/バックライトボタンを押すと、バックライトが約3秒間点灯します。また、何らかのボタンを押して操作した場合や、選局ツマミを回したり押したり場合も点灯します。

※一度点灯したバックライトは、約3秒間何も操作しないとオフになります。

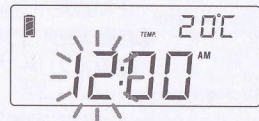


時刻を合わせる

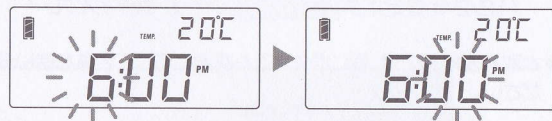


電源オフ時に操作してください。

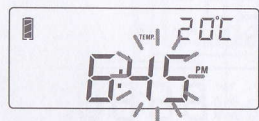
- ①時刻設定ボタンを長押しします。
ディスプレイの「時」表示が点滅します。



- ②選局ツマミを回して、「時」を選び、時刻設定ボタンを押します。
「分」表示が点滅します。



- ③選局ツマミを回して「分」を選び、時刻設定ボタンを押すと、設定が確定します。

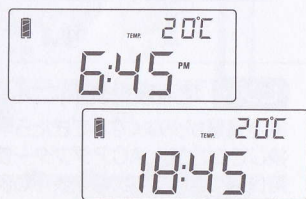


ご注意 3秒間何も操作しない時間が続くと、それまでの内容で設定が確定します。変更する場合はもう一度最初からやり直してください。

ヒント ディスプレイの表示切換について



●時刻の表示方式を切り換えるには
電源オフ時に12/24h設定ボタンを長押しすると、12時間表示と24時間表示を切り換えることができます(12Hまたは24Hと表示された後、現在の時刻表示が切り換わります)。



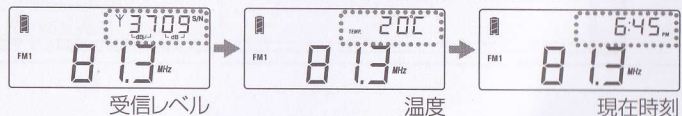
●右上の表示部を切り換えるには

※電源オフ時と電源オン時で表示内容が異なります。

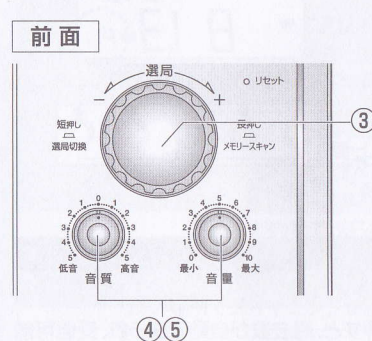
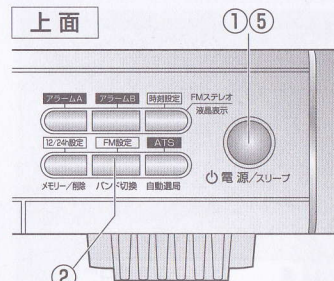
電源オフ時に液晶表示ボタンを押すと、ディスプレイ右上部の表示を、「温度」→「アラームA設定時刻」→「アラームB設定時刻」の順で切り換えることができます。



また、電源オン時に液晶表示ボタンを押すと、ディスプレイ右上部の表示を、「受信レベル」→「温度」→「現在時刻」の順で切り換えることができます。



ラジオ放送を聴く



電源を入れる前に音量ツマミを確認し、音量を絞った状態で操作してください。

- ①電源/スリープボタンを押して電源を入れます。
ディスプレイのバックライトが点灯すると同時に「On」と表示され、ラジオの受信状態になります。



- ②バンド切替ボタンを押して、任意のバンド(AMまたはFM)を選択します。

本機ではAM放送は「MW」、FM放送は「FM 1」と表示されます。

- ③選局ツマミを回してお聴きになりたい放送局を選びます。
ディスプレイの周波数表示を見ながら選んでください。



FM放送は0.1MHz単位、AM(MW)放送は9kHz単位で周波数が変わります。

ヒント 受信レベル表示について

液晶表示ボタンを押して、受信レベル表示に切り換えると、ラジオ受信中に受信レベルを確認することができます。

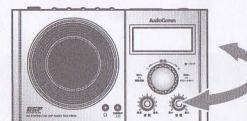
dBμ…電波の強さを数字で表します
(数字が大きい方が信号が強い)。

dB…ノイズと信号のレベル差を表します(数字が大きい方がノイズが少ない)。

ヒント より良くラジオを聴くために

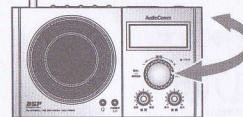
●AM(MW)放送を聴く場合

本機にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて調節してください。

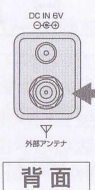


●FM放送を聴く受信

ロッドアンテナを伸ばし、本機の向き・場所を調節してください。



●FM受信用外部アンテナ(別売)を使用する場合は、背面の外部アンテナ接続端子に接続の上、受信状態を確認しながらアンテナの角度や場所を調節してください。



- ④音量ツマミ、音質ツマミを回して音量・音質を調節します。
周囲の迷惑にならないよう、音量の上げすぎにご注意ください。

- ⑤終了する時は、音量ツマミを回して音量を絞り、電源/スリープボタンを押します。
「OFF」と表示された後、時刻表示に戻ってバックライトもオフになります。



便利な選局機能

本機には【ダイヤル選局】と【メモリー選局】、【お気に入り】の3つの選局モードがあり、お好みに応じて使い分けることができます。

【ダイヤル選局モード】

選局ツマミで周波数を指定して選局します(P.8で解説した選局操作はこの方法です)。



ダイヤル選局とメモリー選局を切り換えるには、選局ツマミを押します。

【メモリー選局モード】

よく聴く放送局や受信可能な放送局を、手動メモリー登録またはATSによって登録することで、簡単に選局できるようになります。



メモリー番号が表示されます。

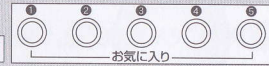
【お気に入りモード】

特によく聴く放送局をお気に入りボタンに登録すると、ワンタッチで選局できます。ダイヤル選局モード、メモリー選局モード時でも、ワンタッチで選局できます。



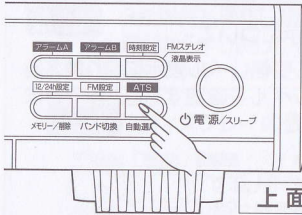
P[番号]が表示されます。

上面



受信可能な放送局を自動でスキャンして選局するには

自動選局



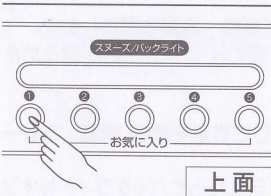
上面

自動選局ボタン(ATSボタン)を押すと、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局で止まります。もう一度押すと、次に受信可能な放送局を受信します。

※メモリー選局時やお気に入り選局時でも、自動選局ボタン(ATSボタン)を押すとダイヤル選局モードになり、スキャンを開始します。

よく聴く放送局を登録し、ワンタッチで選局するには

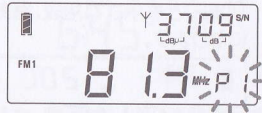
お気に入り



上面

お気に入りボタン(①~⑤)によく聴く放送局を登録すると、そのボタンを押すだけで簡単に選局できるようになります。FM放送、AM(MW)放送それぞれに5局を登録できます。

- ①登録したい放送局を受信した状態で、登録したい番号のボタンを長押しします。ディスプレイにP[番号]が点滅表示されます。
- ②ディスプレイのP[番号]表示を確認して、もう一度押しします。



ヒント

- お気に入りボタンを使って登録した放送を選局する場合は、バンド切換ボタンでFM放送またはAM(MW)放送を選択した後、お気に入りボタンを押してください。ディスプレイにP[番号]が表示されます。
- お気に入りボタンの登録内容を消去することはできません。上記ステップ①、②の操作により、上書きすることは可能です。

受信可能な放送局を一括でメモリー登録するには

ATS(オートチューニングストレージ)



上面

メモリー登録は、手動メモリー登録とATSでの登録を合わせて、FM放送、AM(MW)放送それぞれ100局まで登録できます。

自動選局ボタン(ATSボタン)を長押しすると、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順次登録していきます。

- ・この際、ディスプレイにメモリー番号が点滅し、最初に受信できた局から01、02...と追加されます(この間もスキャンが続きます)。
- ・ひと通りスキャンが終わると、01に登録された放送局を受信します。

※すでにATSでメモリー登録をしている場合、再度ATSを実行すると、登録内容が消去され、最初から登録し直されます。また、手動でメモリー登録した内容も、上書きされますのでご注意ください。



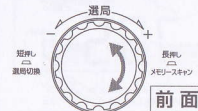
周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順次登録していきます。

ヒント

電波の受信状態によって登録できる放送局数が異なります。窓の近くなど、できるだけ電波状態の良い場所でスキャンすることをお勧めします。

放送局を手動でメモリー登録するには

手動メモリー登録



上面

- ①ダイヤル選局モードで、メモリー登録したい放送局を受信します。



- ②メモリー/削除ボタンを押します。

ディスプレイのメモリー番号がしばらく点滅し、その番号に登録されます(点滅から点灯になると、登録が確定します)。



- ③続けて登録を続ける場合は、①~②の操作を繰り返します。

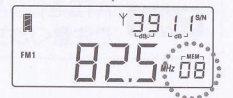
登録が終わると、ダイヤル選局モードで登録した放送局を受信します。

ヒント 登録の途中でメモリー番号を変更するには



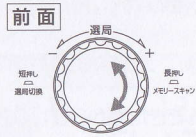
上面

メモリー番号は、00~99のうち登録されていない小さい数字の番号から順に自動で割り振られます。任意のメモリー番号に変更して登録したい場合は、ステップ②でメモリー番号が点滅中に、選局ツマミを回して番号を変更します(点滅から点灯になると、変更が確定します)。

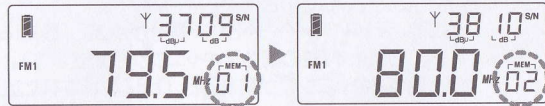


便利な選局機能(つづき)

メモリー登録した放送局を選ぶには

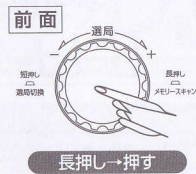


選局ツマミを回してお好みのメモリー番号を選びます。
※ダイヤル選局モードの場合は、選局ツマミを短く押してメモリー選局モードにしてから上記の操作をしてください。



メモリー選局モードで、メモリー番号を見ながら選局ツマミを回します。

メモリー登録した放送局をスキップしながら受信し、聴きたい局を探すには



選局ツマミを長押しすると、メモリー登録された放送局を、約3秒間ずつスキップ受信します。聴きたい放送を受信している時にもう一度選局ツマミを押すと、スキップを中止しその放送局を受信します。



スキップ中は最後までいくと再び最初の放送局に戻って受信します。

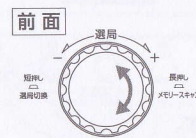
すでに登録されている放送局のメモリー番号を変更するには



①メモリー選局モードで変更したい番号を選びます。



②メモリー／削除ボタンを押します。
(メモリー番号が点滅します。)



③選局ツマミを回して新しい番号を選び、もう一度メモリー／削除ボタンを押します
(点滅から常灯に変わり、変更が確定します)。

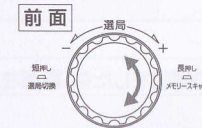


※ステップ③でメモリー／削除ボタンを押さなかった場合も、点滅から常灯に変わり、変更が確定します。

※メモリー番号を変更しても、元の番号はメモリーに残っています。不要な場合や別の放送局を割り当てたい場合は、「任意のメモリー登録内容を消去するには」を参照して、登録内容を消去してください。

ご注意 ATSを行うと、登録内容がすべて破棄され、ATSでのメモリー登録に書き換えられますのでご注意ください。

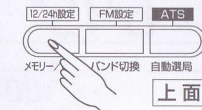
任意のメモリー登録内容を消去するには



①メモリー選局モードで消去したい番号を選びます。



②メモリー／削除ボタンを長押しします。
「dEL」と表示され、メモリー番号が点滅します。

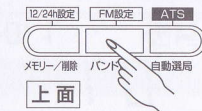


③もう一度メモリー／削除ボタンを押します。
消去が終わると、次のメモリー番号を受信します。

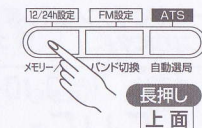


ご注意 メモリーの登録内容を消去すると、修復することはできませんのでご注意ください。

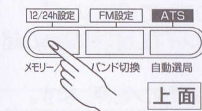
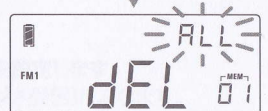
メモリー登録を一括して消去するには



①バンド切替ボタンを押して、一括消去したいバンドにし、メモリー選局モードにします。



②メモリー／削除ボタンを長押しします。
「dEL」と表示されてメモリー番号が点滅し、さらにディスプレイ右上に「ALL」が点滅表示されるまで長押ししてください。



③もう一度メモリー／削除ボタンを押します。
消去が終わると、聴いていた放送局をダイヤル選局モードで受信します。



ご注意 メモリー登録を一括消去すると、修復することはできませんのでご注意ください。

その他の便利な機能

アラーム

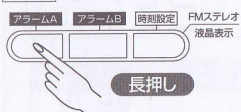
本機ではA、B2つのアラームを設定して使い分けすることができます。それぞれアラーム起動時刻とアラーム終了までの時間をあらかじめ登録しておけば、ボタン一つで起動のオン・オフができます。

アラーム起動時刻とアラーム終了までの時間を登録する

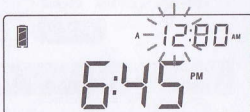
アラーム音はラジオ音声のみです。起動時に聴きたいラジオ局をあらかじめ受信し、音量調整をした後、電源をオフにして以下の操作をしてください。

※ここではアラームAに登録する方法を紹介しします。アラームBに登録したい場合は、それぞれのステップでAをBに置き換えて操作してください。

上面



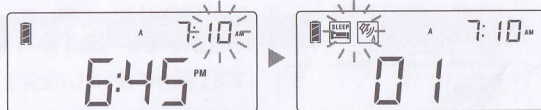
- ①アラームボタン(A)を長押しします。
ディスプレイにAが表示され、右上の「時」表示が点滅します。



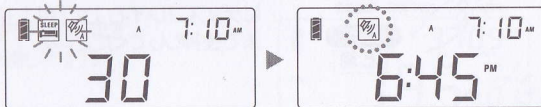
- ②選局ツマミを回してアラームを起動させたい「時」を選び、アラーム(A)ボタンを押します。
「分」表示が点滅します。



- ③選局ツマミを回してアラームを起動させたい「分」を選び、アラーム(A)ボタンを押します。
アラームアイコン(A)とスリープアイコンが点滅し、数字が表示されます。



- ④選局ツマミを回してアラーム終了までの時間を選び、アラーム(A)ボタンを押します。
登録が確定し、そのままアラーム(A)の起動設定がオンになります。



登録後はアラームアイコンが表示され、起動設定がオンになります。

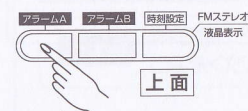
- ヒント**
- 3秒間何も操作しない時間が続くと、それまでの内容で設定が確定します。変更する場合はもう一度最初からやり直してください。
 - アラームの起動設定がオンの時は、ディスプレイ右上にアラーム起動時刻と温度表示が交互に表示されます。
 - アラーム起動設定をオフにするには、アラームボタンを押します。

アラームの起動設定をオンにする

一度登録したアラーム設定は、アラームボタン(AまたはB)を押すと、起動のオン/オフを切り換えることができます(ディスプレイにアラームアイコンが表示されます)。



起動設定オン



アラームが鳴ったら

設定した時刻になると、アラームが起動し、ラジオを受信します。起動中は、アラームアイコンとアラーム終了までの残り時間が点滅します。

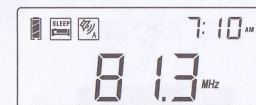


アラームを解除するには

上面



電源/スリープボタンを押すと、アラームが解除され、そのまま電源オンの状態になります。

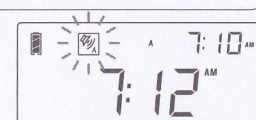


スヌーズ機能を使うには

上面



スヌーズ/バックライトボタンを押すと、一時的にアラーム(ラジオ音声)が中断し、約10分後に再度鳴り始めます。スヌーズ中はアラームアイコンが点滅し、アラーム起動時刻と温度表示が交互に表示されます。



ヒントとご注意

- アラーム中やスヌーズ中は、電源/スリープボタン、スヌーズ/バックライトボタン以外は機能しません。
- アラームを解除しても、翌日同じ時刻に再度起動します。起動を中止するには、電源オフ時にアラームボタン(AまたはB)を押してディスプレイのアラームアイコンを消してください。

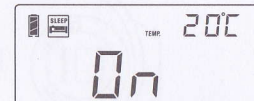
スリープ

電源オフ時に操作してください。

上面

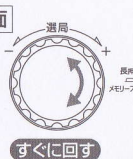


- ①電源/スリープボタンを押して電源を入れます。



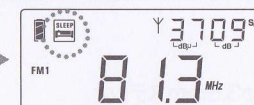
電源オン(スリープなし)

前面



- ②すぐに選局ツマミを回し、自動電源オフまでの時間を設定します。

そのまましばらくすると設定が確定し、電源オン(ラジオ受信)になります。



スリープ設定有効時はスリープアイコンが表示されます。

ヒントとご注意

- 約3秒間選局ツマミを操作しない時間が続くと、設定が確定し電源オンになります。意図しない時間で設定されてしまった場合は、もう一度電源オフにしてやり直してください。
- 選局ツマミを時計回りに回すと数字が増え、反時計回りに回すと数字が減ります。
- 1分・5分・10分・15分・30分・45分・60分・75分・90分、以降480分まで30分刻みで設定できます。
- 設定した時間は次回電源オン時も保持されています。解除するには、電源オン時にすぐに選局ツマミを回し、時間の設定を「On」表示にしてください。

FM設定

本機ではFM放送の受信周波数帯を変更することができます。

ただし、工場出荷時の設定は日本のFMラジオ周波数に合わせて76.0～90.0MHzとなっています。特に必要がある場合を除いて変更しないでください。

上面



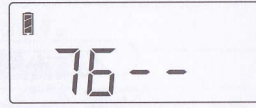
長押し→数回押し

電源オフ時に操作してください。

①FM設定ボタンを長押しします。

②さらにFM設定ボタンを数回押しします。
3種類の受信周波数帯が「最小周波数」→「最大周波数」の順で表示されますので、日本での使用に対応した「76-」が表示されるまで、数回押ししてください。そのまましばらくすると変更が確定します。

※同時にAM(MW)放送の受信周波数帯、温度表示についても自動的に変更されます。

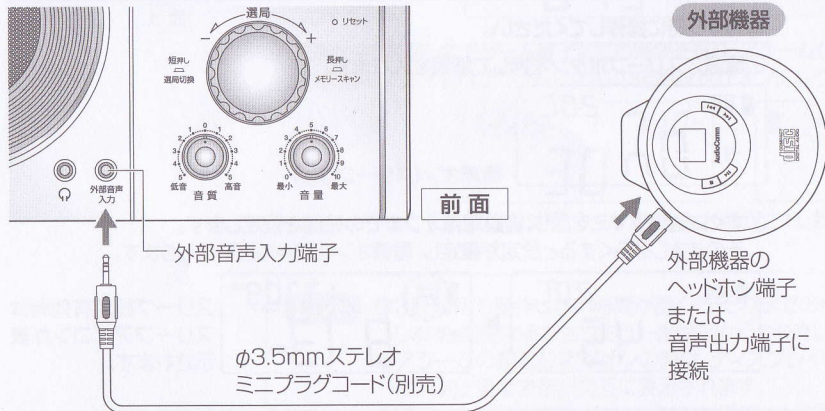


「76-」が表示されたら押すのをやめず。すると「90.0MHz」が表示されて変更が確定し、現在時刻表示に戻ります。

設定	エリア	FM受信周波数帯	AM(MW)受信周波数帯	温度表示
76--	日本	76～90MHz (100kHzステップ)	522～1620kHz (9kHzステップ)	℃
88--	海外(アメリカ)	88～108MHz (100kHzステップ)	520～1710kHz (10kHzステップ)	℉
87--	海外	87～108MHz (100kHzステップ)	522～1620kHz (9kHzステップ)	℃

外部機器を接続する

本機の外部音声入力端子と外部機器を、φ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)で接続して、ポータブルCDプレーヤーや携帯音楽プレーヤーなどの音楽を楽しむことができます。



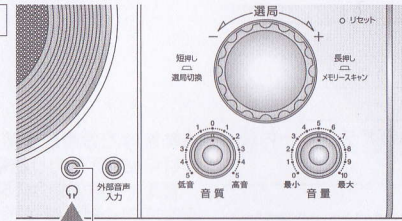
ヒントとご注意

- 外部機器からの音声入力がないまま5分経つと、本機は自動的に電源オフになります。
- コードの接続および解除は、双方の機器とも電源オフの状態で行ってください。
- 音量の調節は、本機および外部機器双方で可能ですが、本機側で音量を上げすぎると、接続解除後に電源を入れた時、突然大きな音が出る場合がありますので、十分ご注意ください。
- 外部機器を接続中、スピーカーからわずかに音が出力されることがありますが、故障ではありません。

ヘッドホンで聴くには

ヘッドホンで聴く時は、別売のステレオヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。

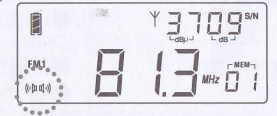
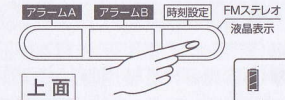
前面



ヘッドホン端子

ヒントとご注意

- FMステレオ放送を良好な状態で受信している時、FMステレオボタンを押すと、ヘッドホンからの音声ステレオ放送になります。もう一度押しとモノラル音声に戻ります(音中にノイズが入る場合は、モノラル音声にすると聴きやすくなります)。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用コンセントでご使用时、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は乾電池にてご使用ください。



主な仕様

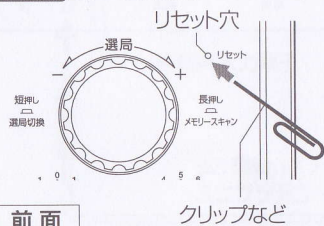
受信周波数	FM: 76.0~90.0MHz AM(MW): 522~1620MHz
スピーカー	直径65mm
外部入力端子	φ3.5mmステレオミニジャック
ヘッドホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック
電源	DC6V 単1形乾電池×4本(別売) 外部電源 DC6V 450mA (専用ACアダプター付属)
乾電池での連続 使用時間目安	FM: 約200時間 AM(MW): 約150時間
外形寸法	幅258×高さ148×厚さ63mm(突起物含まず)
時計精度	月差30秒以内
質量	約1050g(乾電池含まず)
付属品	取扱説明書(本書) 専用ACアダプター

※乾電池での連続使用時間目安は新品のアルカリ乾電池使用・音量中程度の場合の時間です。※仕様および外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。※この取扱説明書で使用しているイラストは、一部実際の製品と異なる場合があります。

故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●(乾電池にて使用時)乾電池が正しく入っていますか。また、乾電池は消耗していませんか。 ●(AC電源にて使用時)ACアダプターが正しく差し込まれていますか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていませんか。
雑音が入る 音が震える	●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話を本機から離して使用してください)。 ●テレビやパソコン、蛍光灯などの近くで、AM(MW)放送を受信していませんか(雑音が入ることがあります)。また、テレビの近くで本機を使用するとテレビの画像が乱れることがあります。このような時は本機をテレビから離してください。
受信周波数がおかしい	●誤設定になっていませんか。P.15のFM設定を参照し、再設定してください。

ヒント リセット操作について



上記を確認しても不具合が解消されない場合、リセット操作をすることで直る場合があります。細い金属ピン(広げたクリップなど)を用意し、以下の通り操作してください。

- ①ACアダプターコードを外します(乾電池装着時は乾電池も取り外してください)。
- ②用意した金属ピンをリセット穴の中に入れ、奥にあるスイッチを軽く押してください。
- ③ACアダプターを接続するか、乾電池を装着した後、電源/スリープボタンを押して電源を入れ、確認してください。

お手入れのしかた

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間および経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	書斎ラジオ			★お買上げ日:	年	月	日
型番	RAD-F950N	品番	07-7950	保証期間: 本体1年間(お買上げの日から)			
お客様	★お名前						
	★ご住所 〒 - ()						
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	(印)						

見本

(注) ★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7950A